

保護者等向け

児童発達支援評価表 【公表】

公表：令和 6 年3 月 1日

児童発達支援・放課後等デイサービス キッズステーションわくわく

保護者等数（児童数）13人 回収数13人 割合100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	1	0	3	親子で体操できる程のスペースがあって広くて良い。 他の子どもたちがいる中での様子を見たことがないので何とも言えません。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	1	0	2	看護師さんからのアドバイスもあり助かる。⇒その他保育士、言語聴覚士、理学療法士などの専門性をもった職員を配置しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	1	0	3	お勉強（机上）用の個別空間を実際にみれていない。⇒車椅子でも対応できるように、玄関にはスロープ、トイレには手すりを設置しています。また子どもが入っては行けない部屋や触ってはいけない場所には×などの子どもの視覚からわかりやすいマークを掲示し工夫しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12	0	0	1	余計な物等もなく、ケガの心配も少なそう。⇒専門家のアドバイスを受け子どもの特性に合わせ個室なども設置しています。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	12	1	0	0	支援目的が明確でわかりやすい。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11	0	0	2	運動と勉強でそれぞれ計画が立てられ達成感がわかりやすい。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12	1	0	0	文武で支援があり良い。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	10	3	0	0	定期的に新しい療育項目があって良い。 ⇒今後も活動プログラムが固定化しないように工夫を行っていきたいと思います。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	3	1	4	今後交流の場を検討していきたいと考えています。

保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	2	0	0	紙面を対面で説明して頂きました。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	12	1	0	0	紙面を対面で説明して頂きました。 ⇒個別支援計画書を作成し保護者様へ随時ご説明しています。また内容説明後、署名捺印を頂き1部書面を交付しています。
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	10	1	1	1	特に心当たりはありませんが、スタッフさんたちのきめ細やかな対応と共有が普段の生活にも役立っております。 もう少し具体的なアドバイスが欲しい。 ⇒今後具体的なアドバイスをお伝えできるよう配慮していきます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	11	2	0	0	SNSで日々の療育状況は聞いているが課題掲示がない。⇒今後課題についての掲示方法を検討します。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	1	0	0	面談時に日々の問題の相談をすると回答してもらえます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	2	1	1	・まだ回数が少なく実数がないと思う。 ・コミュニティがないので開催の頻度を増やしてもらえると嬉しい。⇒今後も保護者会の開催、回数等を検討し保護者同士の連携が支援できるようにしていきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11	2	0	0	SNS（ライン）や電話でも相談を受けてもらえるので有難い。 SNSでの連絡が行き違いとなり同じ内容を2度送信したりがあった。⇒今後SNSでの連絡送信に十分注意していきます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	2	0	0	SNS（ライン）で知らせてくれる。私が見れていないくらい早く伝えてくれる。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	10	0	0	3	会報は無い。HPはあまり見ない。⇒ホームページを現在作成中の為完成次第ホームページへ公表を行います。
19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	12	0	1	0	SNS等の写真への配慮ができている。 SNSで違う子どもの写真が届いた。⇒SNSの写真のご送信が1度あったため日頃より個人情報の取り扱いには十分気をつけ再発防止には力を入れています。	

非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	7	0	1	5	マニュアルの説明があったかわからない。⇒今後保護者様へ周知・説明ができるよう手段を検討していきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	2	1	6	訓練は実施しているが、当日利用者に限られるため、今後避難訓練を行う際は保護者様へわかりやすくSNSや通信でお知らせしてしていきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	10	2	1	0	理由は不明。⇒利用者様が楽しく通所できる施設を目指していきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	12	1	0	0	いつも熱心に支援頂き感謝しています。

\*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。